




## ウェビング点検マニュアル(ゼブラウェビング)

ウェビングの定期的な点検は、安全に使用するためにも必ず行ってください。交換対象とされているウェビングを使用し続けると本体への影響(故障の原因)だけではなく、切断=死 となる場合もございます。

ウェビングを点検されるスタッフは、その施設の責任者、又はオートビレイ機を使用しているエリアの担当者が必ず行ってください。点検をする前に、オペレーターマニュアルを今一度お読みになり点検業務を行ってください。ウェビングを何らかの方法で補修したり、類似商品などは絶対に使用しないでください。

以下、TRUBLUE XL、QUICKjump XL、zipSTOP IR、FlightLine zebraで使用されているウェビングのみ対象です。

ウェビング交換目安例	
ダメージ例	備考
<p>サイドダメージ</p> 	<p>ウェビングのサイド部分が2.5cm以上解れ始めたら即交換してください。小さな解れも徐々に大きくなりますので、発見した場合は、必ず注意をしながら点検をしてください。詳しくは、表2のステージ2をご覧ください。</p>
<p>表面ダメージ</p> 	<p>表面(もしくは全体)に磨耗が酷く目立ちはじめた場合、又は通常の厚さの1.5倍以上膨れ上がってしまった場合、即交換してください。サイドの白い糸部分が目立ち始めたら交換時期です。詳しくは、表2のステージ4をご覧ください。</p>
<p>UVダメージ</p> 	<p>野外で使用されている方へ:UVダメージが目立ち始めたら即交換してください。色が薄く(白く濁る)なってきます。(オートビレイ機の場合は青い部分、ジップストップはオレンジ色の部分、クイックジャンプはジャケット又はリップコード部分を指します)。詳しくは、表3のステージ2をご覧ください。</p>
<p>カビ</p>	

濡れた状態でウェビングを保管するとカビが生えます。その状態が確認されたら即交換してください。

表1:ウェビングの交換目安

①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		

⑧		⑨
⑩		
⑪		
⑫		N/A

カビが生えたウェビング



図 2

①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		
⑯		
⑰		
⑱		
⑲		
⑳		
㉑		
㉒		
㉓		
㉔		
㉕		
㉖		
㉗		
㉘		
㉙		
㉚		
㉛		
㉜		
㉝		
㉞		
㉟		
㊱		
㊲		
㊳		
㊴		
㊵		
㊶		
㊷		
㊸		
㊹		
㊺		
㊻		
㊼		
㊽		
㊾		
㊿		

図 3

カビ